

令和 4 年 6 月 2 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会  
代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和4年5月30日（月） から 令和4年5月31日（火） まで

2 活動場所

- ① 陸前高田市
- ② 宮古市

3 参加者

山谷 仁、柳橋 好子

4 活動内容

別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体: 新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	東日本大震災から11年4か月が経ち、陸前高田市、宮古市ともに、この間に大きく復興を遂げ、市民はもとより、県民そして多くの国民の期待に沿ったものになったと思われる。その地道な努力の成果をじかに拝見し、担当者に直接話しを聞く。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>● 実施日 令和4年5月30日(月)～令和4年5月31日(火)</li><li>● 場所 岩手県陸前高田市 市役所ほか 岩手県宮古市 イーストピアみやこ(市役所・市民交流センター・保健センター) 宮古市地域創生センターほか</li><li>● 内容 陸前高田市庁舎建設について、場所選択では議論が分かれる中、建設面積・費用・期間など、困難を克服しての建設となった経緯を議員と副議長から説明いただいた。 宮古市は旧庁舎跡を公園として市民の憩いの場に。新市役所庁舎は庁舎・保健センター・市民交流センターの3つの複合施設で、そこの駐車場に車を止めて、室内から宮古駅への跨線橋を通過して商店街で買い物をして帰るといふ、市民生活の利便性も考慮して建設されていることを説明していただいた。</li></ul>
活動成果	<ul style="list-style-type: none"><li>● 特記事項及び所感等 陸前高田旧市役所は4階建てであったが、6メートルのかさ上げの必要性などで敷地面積が限られ、旧庁舎と同じ建坪にするために7階建てになったとのこと。階ごとの面積は狭いものの、工夫されて使い勝手が良いような印象を受けた。屋上展望台や市民交流スペースなど、市民が気楽に庁舎に来れるように配慮されている。 宮古市庁舎は市民交流センター・中央公民館、保健センターを併設し、市民の利便性を追及している。また、今後の経済環境を見据えた施策として庁舎と駅とを直結させた設計も大いに参考となると考える。 どちらの庁舎においても、市民が気持ちよく来庁できるように工夫され、十分と思われる会議室や議員控室のほかに会派ごとの部屋が用意されていた。  宮古市の地域創生センターの使い方においても、旧警察署を開放し、市民は会議や趣味の会などに有効利用している。  滝沢市においても、総合福祉センター(仮称)の要望にも参考になる視察であった。</li></ul>

活動成果



# 会派視察日程表

(令和4年5月30日～令和4年5月31日)

年月日	時刻	行程
令和4年5月30日 (月)	10:00 10:15～12:15  13:30～15:30  15:30～15:45	滝沢市役所集合 滝沢市役所⇒陸前高田市 <レンタカー>  【昼食】  <u>陸前高田市内復興状況視察</u>  陸前高田市役所⇒宿泊先 <レンタカー>  【宿泊】 「民宿沼田屋」 (陸前高田市米崎字川内 179-2)
令和4年5月31日 (火)	9:00～10:00  10:15～11:30 11:45～12:45  12:45～14:00  14:30～15:30  15:30～17:30	宿泊先⇒宮古市  <u>地域創生センター視察</u> <u>宮古市役所、うみどり公園視察</u>  うみどり公園⇒道の駅みやこ 【昼食休憩を含む】  田老地区視察  宮古市内⇒滝沢市役所 <レンタカー>

令和 4 年 7 月 2 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会  
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・研修・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・研修）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日  
令和4年6月29日（水） から 令和4年6月30日（木） まで
- 2 活動場所  
① 東京・ビックサイト
- 3 参加者  
山谷 仁、柳橋 好子
- 4 活動内容  
別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体：新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ <b>研修</b> ・ 要請陳情等
<b>活動の理由 及び その目的</b>	<p>全国の自治体が抱える課題の解決や実施方法などの事例、全国的な政策課題、世界に対する問題や協定に関することを学び、活動に活かすため、4セミナーの受講・研修をするものである。</p>
<b>活動概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施日 令和4年6月29日(水)～令和4年6月30日(木)</li> <li>●場所 東京都江東区有明3丁目11-1 東京ビッグサイト</li> <li>●内容 Japan Event Week 2022/自治体・公共 Week 2022               <ul style="list-style-type: none"> <li>①第1講座 ゼロカーボンシティ実現への取り組み 講師:環境省地域脱炭素推進総括官 土田 康治</li> <li>②第2講座 新時代地域活性化戦略 講師:鳥取県知事 平井 伸治</li> <li>③第3講座 スマートシティ 最前線 講師:経済産業省 福永 茂和</li> <li>④第4講座 教訓から取り組む地域防災 講師:仙台市長 郡 和子</li> </ul> </li> </ul>
<b>活動成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ゼロカーボンシティ実現への取り組みとしては、気温の上昇などの科学的データから、2050年にCO2をゼロにする必要があると報告されているが、2015年パリ協定では、中国・インド・ブラジルが参加しないと効果がないとされていた。 岸田首相がCOP26で、日本も2050年カーボンニュートラルを提唱している。 脱炭素は各企業もリスクを背負う。財政的措置が必要である。 地域脱炭素：地域から始まる次の時代への移行戦略→地域の経済活性化。 再エネ推進交付金の活用など。 今後の環境省と経済産業省の取り組みに期待がかかっている。</li> <li>② 新時代地域活性化は「リトルで利取る ～鳥取県からの挑戦～」と題しての講演で、現実的で非常に興味を持てる内容だった。 特に、コロナ対策の実践では、早期発見・早期入院を実践。つまり災害時には、目の前で起きていることに忠実に、そして、即座に対処するという当たり前だが、なかなか難しいことをやると力説されていた。</li> <li>③ 自動車産業における日本の取るべき姿を問う講義だった。世界の潮流はほぼEV電気自動車になっているが、日本ではHVハイブリット自動車がその特徴を發揮している認識で、このままEV車、HV車を並行して生産していくかで自動車業界</li> </ul>

の立ち位置が決まってくる大事な局面を迎えている。

車の電動化、つまり脱炭素化を目指して車が電動化されても、その電気を作るためにCO2を出しては意味がない。

経産省、国交省との連携で、国の最大基幹産業の行方が決まる大きな局面に入っていると考えられる。

- ④ 東日本大震災津波の教訓から得た経験と知見から、仙台周辺の復旧、復興と新たな取り組みについて現場をビデオ化し、全国の自治体にアピール。  
全国どこでも起こりうる災害の対策、対処の仕方、後始末やケアなどを紹介。

## 所感

特に、②の鳥取県知事の講演は、興味深かった。

目の前のことを正確に、迅速に進めること、財政的に難しいことは知恵を集めて解決する。小さな市であるわが市に最も必要なこととであり、実行可能なことだと感じた。

また、④の仙台市長の話は復興復旧、そして未来への都市づくりで、どこにでも起こりうる地球温暖化による大災害に対処する一端を示していた。わが市としても、市長、職員はじめ市民にも共有の対策として定着できるよう、啓発していくことが求められると思った。

## 活動成果



## 研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和4年6月29日 (水)	7:40	盛岡駅集合（南口待合室）
	8:02～10:32	盛岡駅⇒東京駅（JR 新幹線はやぶさ8号）
	11:03～11:07	東京駅⇒新橋駅（JR 京浜東北線）
	11:10～11:32	新橋駅⇒東京ビッグサイト駅（ゆりかもめ）
	12:00～14:45	<b>【セミナー（1日目）】</b> 東京ビッグサイト（江東区有明3丁目11-1） ・ゼロカーボンシティ実現への取り組み 12:00～12:45  <b>【昼食】</b>  ・新時代の地域活性化戦略 14:00～14:45  <b>【宿泊】</b> 相鉄フレッサ東京ベイ有明 （江東区有明3丁目6-6）
令和4年6月30日 (木)	10:00～14:45	<b>【セミナー（2日目）】</b> 東京ビッグサイト（江東区有明3丁目11-1） ・スマートシティ最前線 10:00～10:45  <b>【昼食】</b>  ・教訓から取り組む地域防災 14:00～14:45
	15:16～15:38	東京ビッグサイト駅⇒新橋駅（ゆりかもめ）
	15:51～15:53	新橋駅⇒東京駅（JR 京浜東北線）
	16:20～18:33	東京駅⇒盛岡駅（JR 新幹線はやぶさ35号）



令和4年10月31日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会  
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日  
令和4年10月19日（水） から 令和4年10月20日（木） まで
- 2 活動場所  
長野県長野市 ホクト文化ホール （長野市若里1丁目1-3）
- 3 参加者  
山谷 仁、柳橋 好子
- 4 活動内容  
別紙の通り

# 政務活動シート

調査主体：新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ <b>研修</b> ・ 要請陳情等
<b>活動の理由 及び その目的</b>	滝沢市議会でもタブレット使用により、デジタル化を進めている。 まだまだ完全に使いこなしているとは言い難い状態のなか、今回の研究フォーラムは絶好の勉強の機会と捉え、研修を行うものである。
<b>活動の概要</b>	<p>○ 実施日及び行程 令和4年10月19日(水)～20日(木)</p> <p>19日(水) 8時50分 盛岡駅発 11時43分 長野駅着 13時～16時50分 フォーラム参加</p> <p>20日(木) 9時～11時 フォーラム参加 13時～ 視察 16時19分 長野駅発 19時33分 盛岡駅着 解散</p> <p>○ 実施場所 ホクト文化ホール(長野市若里5丁目9-1)</p> <p>○ 内容 第17回全国市議会議長会研究フォーラム 研修テーマ「デジタルが開く地方議会の未来」</p> <p>19日(水)</p> <p>第1部 基調講演 「コロナ後の地域経済」 講師: 富山和彦氏〔株式会社 経営共創基盤(IGPI)グループ会長〕 講演内容: 経済危機の歴史・コロナ禍ショック・デジタル革命の拡大、 AI時代の到来・DX拡張拡大する中のビジネスチャンスの所在・ 日本経済の本丸はローカル経済圏、中堅・中小企業経済圏・ ローカル経済圏でなぜ当たり前のことが出来ていないのか?等</p> <p>第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の現状・課題と将来の可能性」 コーディネーター: 人羅格氏(毎日新聞論説委員) パネリスト: 岩崎尚子氏(早稲田大学電子政府・自治体研究所教授) 牧原出氏(東京大学先端科学技術研究センター所長) 湯淺壘道氏(明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科)</p>

教授)

寺沢さゆり氏(長野市議会議長)

内容概要: 地方議会における急激なデジタル化と、アフターコロナの日本・議会デジタル化を推進するための提言・議会デジタル化の意義・住民との関係の再構築・長野市議会のデジタル化への取り組み 等

20日(木)

第3部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取り組み報告」

コーディネーター: 谷口尚子氏

(慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授)

パネリスト: 金澤克仁氏(取手市議会議長)

板津博之氏(可児市議会議長)

林 晴信氏(西脇市議会議長)

内容: 金澤氏「IT活用 いつでも・どこでも 議会の権能を維持向上」  
「オンライン会議の実現に必要な地方自治法改正を求める意見書」提出等

板津氏「コロナ禍における議会報告会の開催」「議会グループウェアの導入」「完全オンラインの議会報告会」等

林氏「議会DXへの取り組み」「情報の共有・住民参画・議会機能強化」、「オンライン議会と語ろう会の試行」等

## 活動の概要

### ○ 所感

まさに全国的に訪れている市議会のデジタル化の必要性、現状など、時宜を得たフォーラムであった。

初日の基調講演の富山和彦氏の講演は、さすが活躍している人で、理解できる内容であった。また、パネルディスカッションも、専門的で高度な内容ではあったが、パネリストそれぞれが伝えるべきことを整理して分かりやすく述べていたように思う。

## 活動成果

2日目は、3議会のデジタル化の取り組み報告であった。各議会それぞれに積極的な取り組みをしているが、最終的にはとにかく習うより慣れろと感じた。特に、西脇市議会議長報告の中で、西脇市議会では令和27年度からタブレットの貸与があるが、総務部からの制約が多いためにノートパソコン使用者が多いことや、議案書はデータと紙配布とのことなど当市議会にとっても、興味深い内容であった。大いに参考にできると感じた。

開会前のアトラクションは、長野市議会議員の皆様による世相を組み入れた音頭上げであり、その演出は参加した全国の議員へ感動を与えるものであった。

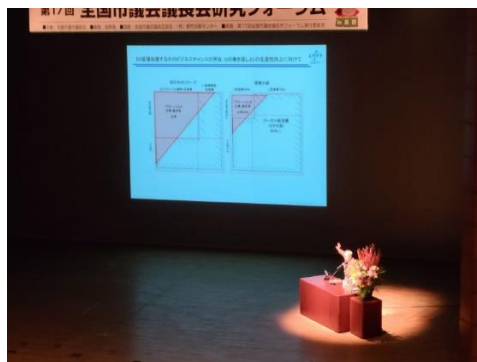
議長(初めての女性議長とのこと)はパネラーとして参加し、長野市・市議会のPRにも大いに寄与していた。

2日間の準備から企画運営など、長野市・長野市議会・関係者の努力に敬意を表し、滝沢市としても、この縮小版として、おもてなしの心を学び実行したいものである。



オープニングセレモニーの  
長野市議会のみなさんの音頭上げ

## 活動成果



基調講演



パネルディスカッション



## 研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和4年10月19日 (水)	8 : 30 8 : 50～10 : 39 10 : 47～11 : 43    13 : 00～16 : 50	盛岡駅集合 盛岡駅⇒大宮駅 (JR 新幹線こまち 10 号) 大宮駅⇒長野駅 (JR 北陸新幹線かがやき 509 号)  <b>【昼食】</b>  <b>【フォーラム】</b> ホクト文化ホール (長野市若里 1 丁目 1-3) 「全国市議会議長会研究フォーラム」(1 日目)  <b>【宿泊】</b> 「ホテル若里」 (長野市若里 5-9-1)
令和4年10月20日 (木)	9 : 00～11 : 00    13 : 00～16 : 00   16 : 19～17 : 27 17 : 45～19 : 33	<b>【フォーラム】</b> ホクト文化ホール (長野市若里 1 丁目 1-3) 「全国市議会議長会研究フォーラム」(2 日目)  <b>【昼食】</b>  <b>【視察】</b>   長野駅⇒大宮駅 (JR 北陸新幹線はくたか 568 号) 大宮駅⇒盛岡駅 (JR 東北新幹線はやぶさ 39 号)

令和 4 年 1 1 月 3 0 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会  
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~）を実施したので、報告します。

記

- 1 期日  
令和 4 年 1 1 月 2 6 日（土） 1 3 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
- 2 研修場所  
盛岡市 アイーナ 7 階・岩手県立大学キャンパス会議室
- 3 参加者  
山谷 仁
- 4 研修内容  
別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体:新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) — 研修 — 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	住民と自治体との協働について、今後の地方自治のあり方を学ぶために参加するもの。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>●実施日 令和4年11月26日(土) 13:00~16:00</li><li>●場所 盛岡市 アイーナ 7階 岩手県立大学キャンパス会議室</li><li>●内容 第1部 —基礎編— 2022議員のための地方自治論講座 VII 参加と協働(第6回)<ol style="list-style-type: none"><li>1 住民と自治体</li><li>2 地方分権と住民・自治体</li><li>3 住民参加と参加・協働</li><li>4 住民と広域行政</li><li>5 参加と協働の課題と展望</li></ol></li></ul>
活動成果	当日は、洋野町、矢巾町、紫波町の議員と交流ができた。タブレット導入後の検証などの意見交換、また、岩手県他自治体との議会活動内容について話し合うことができた。齋藤名誉教授を交えての実例などの話も聞くことができ、有意義な内容と時間であった。

令和 5 年 1 月 3 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会  
代表者名 山谷 仁

政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（~~調査研究~~・~~研修~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和4年12月24日（土） 13:00～16:00

2 研修場所

盛岡市 アイーナ 7階 岩手県立大学キャンパス会議室

3 参加者

山谷 仁

4 研修内容

講師／齋藤俊明・岩手県立大学名誉教授

- 1、 地方分権と政策形成
- 2、 制作と政策過程
- 3、 政策形成
- 4、 政策評価



# 政務活動シート

調査主体:新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) — 研修 — 要請陳情等
<p>活動の理由 及び その目的</p>	<p>住民と自治体との協働について、今後の地方自治のあり方を学ぶために参加するもの。</p>
<p>活動概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●実施日 令和4年12月24日(土) 13:00~16:00</li> <li>●場所 盛岡市 アイーナ 7階 岩手県立大学キャンパス会議室</li> <li>●内容             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方分権と政策過程 地方分権と地方自治体の関係                 <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会環境の変化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化社会経済の成熟化・国際・グローバリゼーションの進展</li> <li>・情報化の進展</li> <li>・地球環境問題の深刻化</li> </ul> </li> <li>○住民ニーズの多様化・高度化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・「物の豊かさ」から「心の豊かさ」へ</li> </ul> </li> <li>○住民と共に進める行政運営                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズの担い手の多様化</li> <li>・参加と協働</li> </ul> </li> <li>○厳しい財政状況                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・最小限の資源で最大の効果</li> <li>・政策の取捨選択と優先順位</li> <li>・未来への投資</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. 政策と政策の体系                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 政治過程と政策過程                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 政治過程＝議会 権力の獲得を巡る闘争が、政治の最も核心的な過程である。</li> <li>2) 政策過程</li> </ol> </li> <li>(2) 政策とは何か 政策とは「目標と現状との差を「問題」と捉え課題の解決策を「政策」とする</li> <li>(3) 政策の種類                     <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ロウイの種類化</li> <li>2) アーモンドの種類化</li> </ol> </li> <li>(4) 政策の体系と構造 政策の体系は「政策」、「施策」、「事業」の3層構造によって構成される。 総合計画は「政策」「施策」「事業」の3層構造によって構成され、 体系化される。 総合計画においては「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」という 形で体系化される。</li> </ol> </li> </ol> <p>*盛岡市における「総合計画条例」でも法形式による規範として「総合計画」及び「政策—施策—事業」を規定する規範にとどまる。</p> </li> </ul>

活動成果	<p>当日は、洋野町、矢巾町の議員と教授との交流が直にできた。 11月24日(土)の研修と同様、県内他自治体との交流により意見交換ができ、有意義な時間であった。 また、本研修の内容は、当市の総合計画策定にとっての参考例になるものと感じた。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和 5 年 2 月 6 日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

会 派 名 新志会

代表者名 山谷 仁

政務活動（調査研究・研修~~・要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修~~・要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和5年1月27日（金） から 令和5年1月28日（土） まで

2 活動場所

① 大正大学

② 迎賓館赤坂離宮

3 参加者

山谷 仁、柳橋 好子

4 活動内容

別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体：新志会

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
<b>活動の理由 及び その目的</b>	<p>コロナ禍であぶりだされた地域の課題と自治体議会の役割について、今一度住民自治の主体・根幹・そして議会改革の到達点など、滝沢市のあるべき姿を考えるために研修するものである。また、日本の歴史を知り、現在も海外の要人を迎える国の重要な建築物を見学することにより、大局的な視野や見分を広めるために調査研究を行うものである。</p>
<b>活動概要</b>	<p>●実施日 令和5年1月27日(金)～令和5年1月28日(土)</p> <p>●場所 大正大学地域構想研究所(東京都豊島区西巢鴨3-20-1) 迎賓館赤坂離宮(東京都港区元赤坂2-1-1)</p> <p>●内容 1日目 27日(金) 10:20～18:00 大正大学 地域構想研究所「地域ネットワーク」フォーラム ～ 地域課題と自治体議会の役割 ～ ①講座 議会が地域を変える ②講座 新たな地域経営を考える ③講座 DXと自治体・議会改革 ④パネルディスカッション 2日目 28日(土) 10:00～12:00 迎賓館赤坂離宮視察見学</p>
<b>活動成果 および所感等</b>	<p>1日目 27日(金) 10:20～18:00 大正大学 地域構想研究所「地域ネットワーク」フォーラム ～ 地域課題と自治体議会の役割 ～</p> <p>① 議会が地域を変える 講師 大正大学教授 江藤俊昭</p> <p>○ 1、時代を読む ・ コロナであぶりだされた日本社会→地方の価値の発見 ・ 二極化:右往左往する議会・議員 政策サイクルを回す議会・議員</p> <p>○ 2、住民自治の主体 ・ 住民自治の根幹としての議会 ・ 地域経営にとって重要な権限は議会(首長が提案、決めるのは議会)</p>

## ② 新たな地域経営を考える

講師 大正大学特任教授・地域構想研究所所長 片山善博

- ・地域は人口減少にどう対応すべきか
- ・「生産性」を念頭に置いた地域経営
- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）と地域
- ・地域資源を再評価し、これを活かす
- ・あらためて地方議会の役割を問う

## ③ DXと自治体・議会改革

講師

- ・取手市議会におけるICTやオンラインを用いた取り組み

## ④ パネルディスカッション

～ 地域課題と自治体議会の役割 ～

取手市議会議長 金澤克仁

議会事務局次長 岩崎弘宣

大正大学社会共生学部公共政策学科 特任教授・

地域構想研究所 所長 片山善博

大正大学副学長・地域構想研究所 副所長 首藤正治

大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 江藤俊昭

- ・取手市のやり方を参考に地方議会の役割等の議論がなされた。

以上の項目により講義等を聴きました。

特に再認識し、滝沢市の参考となることは

### ○ 議員の責務

- ・議決は信念を持ってすること（中身の慎重審議）

議論ないまま投票しての議決が多い、議員間討議が必要

- ・議決したことへの責任をもつこと

- ・議会改革の到達点：第1ステージから第2ステージへ

持続性を持った議会。住民の福祉（幸せ）の向上のために4年間の報告をし、次につなげていく。

### ○ 取手市議会と事務局について

- ・議員が目線を下げ、事務局職員とともに議会を、市を良くしていこうとする。

- ・「議会」という組織には「住民」が含まれている。その「住民」をオンラインを用いてどのように関心向上できる策があるのか→ オンラインにAI字幕議会や議事録は誰のものか  
「議会の中に住民がいる、住民の中に議会がある。AIで文字化→住民が議事録作成(AIの議事録を校正する)→会議録視覚化システム
- ・議員と議会事務局職員「チーム議会」の意識醸成  
まず、やってみる  
進めてみて問題課題が発生したら議論し、解決策を見出し、  
ときには「やめる」決断  
など、滝沢市議会としても、意識を変えて、学ぶべきことや参考となることが多く、有意義な研修であった。



2日目 28日(土) 10:00~12:00

国宝迎賓館赤坂離宮視察見学

迎賓館赤坂離宮本館は、明治42(1909)年、東宮御所として誕生した日本で唯一のネオ・バロック様式の西洋宮殿である。

当時の欧米の最新技術や流行も取り入れつつ、和の意匠にもこだわった明治を代表する建築物である。

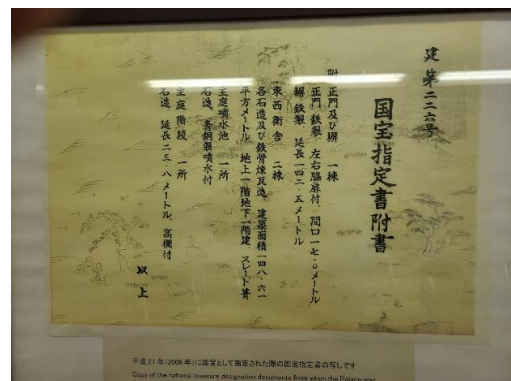
戦後国に移管され、国立国会図書館、内閣法制局など国会や行政の機関に使用されてきた。戦後数十年を経て、海外の賓客を国として接遇するための施設が必要になり、5年の歳月をかけて改修が行われて昭和49(1974)年、迎賓館赤坂離宮が完成。

平成21(2009)年、創建当時の建造物である本館・正門・主庭噴水池等が明治以降の建造物として初めて国宝に指定された。

- ・ 議員としての教養と資質向上のための視察であったが、感動の連続であった。日本の歴史の一端を学ぶこと、一流のものを目にすることは、議員としてはもちろん、一般人としても必要だと感じた。



主庭噴水池（国宝）



- ・ 今回の研修により次回のために感じたこと  
朝早く（6時）に家を出て東京駅から大急ぎで乗り継いで行ったにも関わらず、徒歩のところも多く、会場に到着した時はすでに開始していた。東京駅から遠い会場の場合は、前泊するのが望ましい。

## 研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和5年1月27日 (金)	<p>7:11~9:23 9:28~9:42</p> <p>10:20~18:00</p>	<p>盛岡駅⇒東京駅 (JR 新幹線はやぶさ4号) 大手駅⇒西巣鴨駅 (三田線)</p> <p><b>【研修】</b> 大正大学8号館1階ラーニングcommons (豊島区西巣鴨3-20-1) 「地域政策ネットワーク」フォーラム ～地域の課題と自治体議会の役割～</p> <p><b>【宿泊】</b> ホテルリソル池袋 (東京都豊島区南池袋2-30-14)</p>
令和5年1月28日 (土)	<p>10:00~12:00</p> <p>14:20~16:33</p>	<p><b>【視察】</b> 迎賓館赤坂離宮 (港区元赤坂2-1-1)</p> <p><b>【昼食】</b></p> <p>東京駅⇒盛岡駅 (JR 新幹線はやぶさ27号)</p>